

今日の学習！

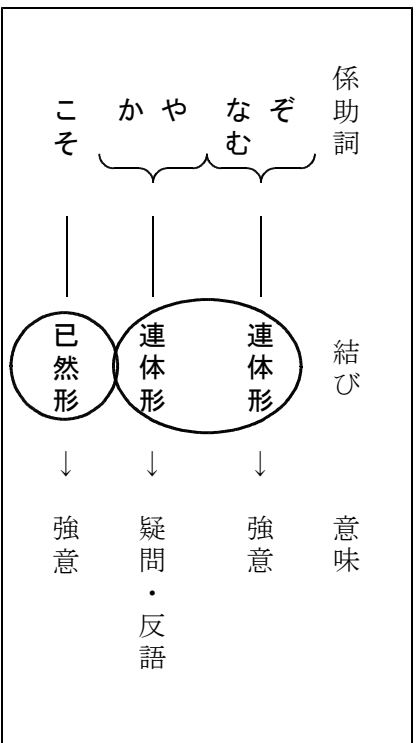
【係助詞】について

◇ 係助詞

ある**一定の意味**を添えながら、修飾する**用言や述語の形に影響を及ぼす**助詞のこと。  
多くは係り結びを伴う。

◇ 係り結びの法則

文中に係助詞があると、それを受ける文末が変化する。



※ 助詞「は・も」については、**係り結びを伴わない**。  
※ 「こそ」だけ「**已然形**」で結ぶよ。

◇ 係助詞を覚えるメリットは、次のような問いに答えられること。

問 次の（ ）内の語を、適当に活用させて書きなさい。  
子孫はおはせぬぞよく（はべり）。

文中の「ぞ」に**気が付く**かがポイント。係助詞「ぞ」は「**連体形**」で結ぶという  
約束なので**答えは「はべる」**。

参考

はべり	語	はべ	語幹	ら	未然形	り	連用形	り	終止形	る	連体形	れ	已然形	れ	終止形	ラ	活用の変格活用
-----	---	----	----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---------

◇ 係助詞の特殊な用法

① 「もぞ」・「もこそ」の用法

係助詞「も」に係助詞「ぞ」「こそ」がつくついた「もぞ」「もこそ」は、**危惧・懸念の気持ち**を表す。「もぞ」は連体形、「もこそ」は已然形で結ぶ。

例 雨もぞ降る。 ↓ (訳) 雨が降ると大変だ(と困る)。

② 逆接強調の用法

「こそ」—— 已然形」の係り結びで文が終わらずに、下に続く場合、**逆接**の関係になる。

例 中垣こそあれ、一つ家のやうなれば、  
↓ (訳) 中を隔てる垣根はあるが、一軒の家のようなので、

※ 覚えているかどうかで、**大きく差**がでるよ。この機会に是非覚えよう！

**練習問題**

(過去の大学入試問題から)

問一 傍線部①「む」を「こそ」の結びとして適切な形に改めなさい。

「安きことにはあれども、童の顔を知りたらばこそ<sup>かた</sup>擲<sup>め</sup>む。」①

問二 傍線部②を口語訳しなさい。

誤りもこそあれと怪しむ人あり。②

できたかな? 答えは...

**この期間に助詞を復習しよう!**